2023 fiscal year
No.359　2023年4月1日 発刊

The Ehime Association of Small Business Entrepreneurs

# Ehime Doyu

2023
4

## 第11回経営フォーラム特集

目次

経営フォーラム 全体概要／
松山市との懇談会 …… 2
経営フォーラム　記念講演 …… 3
経営フォーラム　第１分科会 …… 4
経営フォーラム　第２分科会 …… 5
経営フォーラム　第３分科会 …… 6
経営フォーラム　第４分科会 …… 7
同友会で俳友会 …… 8
会員掲示板／経営相談室コラム …… 9
理事会議事録 ……10

※愛媛同友会では現在、全ての会合において、必ずマスクを着用して参加いただいています。掲載している写真のうち、マスクを着用していないものは、撮影用に一時的に外していただいたものです。

発行：愛媛県中小企業家同友会
編集：広報情報化委員会

［今月の表紙］陽光に誘われて顔を出した土筆（松山市の伊台）　［撮影者］大北 雅浩さん

愛媛県中小企業家同友会
〒790-0003　松山市三番町 1-11-10 ISSEI ビル 301　TEL (089) 948-9920　FAX (089) 948-9931　http://ehime.doyu.jp

# 第11回経営フォーラム　全体の概要

## 193名が参加、激動の時代を生き抜く経営について学び合う

壇上の田中正志代表理事より開会挨拶

去る２月16日、県民文化会館で愛媛同友会の第11回経営フォーラムを３年ぶりの完全リアル形式で開催しました。

実行委員長である松田泰幸さん（㈱平野）の想いがこもった全体テーマは「VUCA時代を生き抜くために」。記念講演と、VUCAの頭文字にあたる「変動性」「不確実性」「複雑性」「曖昧性」をそれぞれテーマに据えた４つの分科会とで、激動の時代を生き抜く経営について学び合いました。記念講演と各分科会につきましては、３ページからのレポートをご参照ください。

さらに、学びの後の懇親パーティーも開催。良野一生さん（いっせいグループ）にご用意いただいた食事と飲み物、石原公彦さん（Keystone Bar）に手配いただいたジャズバンドの生演奏などなど、久しぶりの会食で交流を深めました。

記念講演の謝辞。左が松田実行委員長

コロナ禍が始まって以降、第９回は完全オンライン、第10回はハイブリッドでの開催を余儀なくされてきた経営フォーラム。今回、リアル開催を決断するにあたり、実行委員長としての決意を述べた松田さんの言葉を思い出します。「愛媛同友会は創立40周年に向けて、2025年２月に中小企業問題全国研究集会を設営します。これに向けて、今回の経営フォーラムがホップ、来年度がステップ、そして全研のジャンプに繋げることが重要です。今回のホップ、200人集めましょう！」。この言葉に奮起し、各分科会を担当する委員会の皆さんは事前打合せやプレ報告に注力し、各支部・地区会幹事の皆さんは動員に全力で取り組んでくれました。

途中、動員が思うように伸びなかった時に、「やると決めたからにはやりましょうよ！どうやればできるかを考えましょう！」と鼓舞してくれた中田琢磨さん。青年部をはじめとする他県同友会への声掛けを進めてくれた好永隆之さん。２人の副実行委員長をはじめとする実行委員の皆さんとの連携も素晴らしいものでした。

懇親会のしめは渡部伸哉全研実行委員長

当日は193名もの会員・ゲスト・オブザーバーが参加し、アンケートによると満足度も高い経営フォーラムになりました。これ以上ないスタートが切れたホップを、２年後のジャンプに繋げるべく、愛媛同友会一丸となって取り組める体制を引き続きつくっていきましょう。

文責：大北 雅浩（愛媛同友会事務局）

# 松山市地域経済課と愛媛同友会松山支部との懇談会

１月23日（月）、松山市庁舎内の会議室にて、「第８回松山市地域経済課と愛媛県中小企業家同友会松山支部との懇談会」が開催されました。松山市地域経済課より７名、同友会側から７名が参加しました。

松山市地域経済課と松山支部との懇談会

この懇談会は、松山市の中小企業振興円卓会議に同友会代表が参加していることをご縁に2017年より始まりました。

23日の懇談会では、松山市地域経済課より、松山市の令和５年度の経済対策の主な方針、特に中小企業支援施策についてご説明がありました。同友会側からは、コロナ禍の中、仕入れの高騰や賃上げなど、様々な経営課題が押し寄せる中での中小企業の実態や要望をお伝えしました。

今後も、自社を維持・発展させ、地域を支えるという姿勢で、松山市との信頼関係を発展させていきたいものです。

寄稿：桑波田 健さん
（岡田印刷㈱／松山支部第２地区会／松山市中小企業振興円卓会議委員）

# 第11回経営フォーラム　記念講演

## 積極果敢な経営で未来に希望のもてる地域をつくる！

◆ 報告者：**川中 英章** 氏
㈱ EVENTOS 代表取締役／中小企業家同友会全国協議会 共同求人委員長・広島県中小企業家同友会 理事

報告者の川中英章さん

「大卒が勤める価値のある仕事なんですか？」初めて新卒内定をした際に採用予定者の保護者から言われた言葉です。その言葉にショックを受けつつも、地域同業他社に革新的な刺激を与える会社にしようと、10年ビジョンを立ち上げます。「こういった会社になろうよ！」と既存社員に伝えるも、もともと社内の受け皿づくりが出来ておらず、初めて採用した6人の新入社員は全員退社。

採用の前に、まずは社内の風土を変える努力をすべきだったと語る川中さん。

そこから、社員さんが仕事を通じて誇りや遣り甲斐を感じるようにしたいと事業の社会性を高めるため、地域との関わりを持つように。広島市の一番端っこにある安佐南区吉山地域で農家さんの手伝いや子供たちへの食育などを通じて“農村活性化事業”として、農地の復活やレストランの開業、米やバジルの栽培（その加工）などに取り組みます。その結果、10年を経て、若い人が幾らか移住してくるようになり、子供たちも若干増え、地域のほとんどが協力農家になるなど、大きく変化していきました。それまで高かった社内の離職率も近年ほとんど無くなったのは、自分達の仕事に誇りを感じてくれているのではないかとの事。求人活動も社員さんたちが担当し、自身の働き甲斐を見出すようになり、“自社を魅力ある会社にしたい”と思うようになっていきます。

吉山地域での更なる取り組みとして、地元の方たちの、「自分たちの野菜をこの地域で販売できる場所が欲しい」という声に応えて、産直市をオープン。とれたての野菜販売に加え、地域で採れた野菜を使ったバイキングレストランも併設。地域にとってはフードロスが減る取り組みとなり、訪れるお客様は取り組みを理解頂ける方ばかり（運営に対するクレームもないそうです）、社員はやり甲斐を感じる、とまさに三方良し。他にも、島根県江津市の有福温泉の再生事業にも参画。レストランの開業を始め、地域活性化に資する事業者の募集などに加え、業界の常識を破った異質感のある観光地づくり（オンライン決済への特化等）に取り組んでいるとのこと。「やり甲斐があり、未来に希望がもてるふるさとづくり」が目的だと。

熱気にあふれた会場

熱心な質疑応答

昨今のコロナ禍で、本業であるレストランやケータリングイベントなどはキャンセルも相次ぎ、大打撃を受けたそうで、そのような中で社員さんと一緒に「いつ倒産するのか？」というシミュレーションも行なったそうです。そこでまだ数年の猶予があると分かると、今後の方向性を議論。新たに打ち立てた10年ビジョンの中でコロナ禍でも取り組めるものを考え、「コロナで傷んだ地方の観光地再生事業」が挙げられました。“食を通じた地域活性化事業”として、キッチンバス（走る調理場）をつくって地域でイベント、経済産業省の「地域未来牽引企業」の選定も受けました。先述の有福温泉の取り組みもその一環です。

あっという間の講演時間でしたが、今回の経営フォーラムのテーマである“VUCA”から、「過去の成功パターンに捉われず、変えるところは勇気を持って変えていく」「決算書に現れない人材という資産の価値を高めることが大事」という言葉が川中さんの取り組みを伺い、印象に残りました。

川中さん、たくさんの学びや気付きをいただきありがとうございました。

（EVENTOSはレストランやケータリングサービスなど食に関する事業を展開）

寄稿：武田 正輝さん
（恭栄自動車㈱／伊予・松前支部）

# 第11回経営フォーラム　第１分科会（V：変動性）

## オレ流にやってきたら実はＤＸでした！

### ～ 変化し続ける越智幸雄の実践 ～

◆ 報告者：**越智 幸雄** 氏
季節の花 花心 代表／愛媛県中小企業家同友会 今治支部会員
◆ 担　当：広報情報化委員会

左が報告者の越智さん、右が座長の髙橋さん

DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉が世に登場してまだそれほどの時間は経っていませんが、この言葉を聞かない日がないくらい世の中に浸透しました。DX という言葉は世に浸透しましたが、実際何のことかあやふやな方も多いと思います。

中小企業家同友会全国協議会の定時総会議案では DX を以下のように定義しています。「DX とは単にデジタル技術を活用することではなく、企業経営全体の変革のことを指す。企業が本物の DX に取り組んでいるかどうかが、将来の企業の盛衰を決めることになる」。

また、2022 年６月５日の中小企業家しんぶんに「コロナ禍で加速するデジタル化の波」と題した記事がありました。その一節を紹介します。「デジタル時代だからこそアナログの人間力が必要との指摘もあります。デジタル化には技術と現場をつなぐ人材の力がますます重要で、気づきと共感が価値の源泉になるといいます。（中略）デジタル化時代においては人材育成が大きな鍵となっています」。

これらを一読したとき「なるほど、言っていることはわかる、では、どうしたら良いのか」。これが、私たちが感じる本音ではないでしょうか。

越智さんの報告は、私たちの感じる疑問に見事に解を与えてくれました。

「DX をやらないと時代に取り残される。だからデジタル技術で何かしなければ」。こういう考えで DX に取り組むと失敗します。DX が目的になってしまっているからです。

DX はなんのため？

グループ討論の発表

越智さんは、とりわけ DX を意識して企業変革を推進してきた訳ではありません。「経営者もスタッフも仕事は楽しく効率的に、自分の時間は大切に」との経営姿勢をどう具体化するかを考えた結果が、デジタル技術の活用であったのです。越智さんの目的は明確ですので、DX は手段として位置づけられていることがハッキリしています。

「DX は目的ではなく手段である」とは、あたりまえのことですが、とかく私たちは目的と手段を混同しがちです。混同どころか逆転してしまうこともしばしばあります。

自社へ持ち帰って DX を考えるとき、「DX は目的ではなく手段である」ことを常に意識していたら、各社それぞれの形で DX が進展するものと思います。

越智さんの報告から得た学びにより、各企業の DX の取り組みが成功することを願っています。

寄稿：髙橋 大輔さん
（ソニー生命保険㈱松山支社／松山支部第１地区会）

やってきたことを率直に報告

# 第11回経営フォーラム　第２分科会（U：不確実性）

## 持続可能な企業と地域をめざして

～ SDGs ×まちづくり×企業経営 ～

◆ 報告者：**井上 真一** 氏
㈱大匠建設 代表取締役／福岡県中小企業家同友会 環境経営委員長

◆ 担　当：環境経営委員会

報告者の井上真一さん

報告いただいた井上氏の㈱大匠建設は、福岡県那珂川市の建設会社です。リーマンショックで売上が25％ダウンし、倒産の危機に陥った際に、無知が経営に壁をつくることを実感されました。その時に同友会と出会い、「倒産しない強い会社をつくりたい」と入会されたのです。そこで「環境経営」に出会います。

先ずは、経費削減のつもりで自社の社屋の屋根に設置した太陽光発電に始まり、次に社員さんの勧めでガソリン代削減のために電気自動車を購入。それが思った以上の削減効果となり、利益を創出したので、社用車をすべて電気自動車に入れ替えたのです。

経費削減からの環境経営でしたが、今では地元の木材を活用し、那珂川市の地域課題の解決のため、間伐材を利用した木造ビル（CLT）工法に力を注ぎます。那珂川市は70％が森林で、ポストコロナや地域の未来の問題解決のために、地域企業や行政と共に持続可能なまちづくりを推進しています。

同友会で環境経営を通して学んだことは、大災害や不景気はこれからも起こるという事。この不確実な時代だからこそ、新ビジネスのヒントやチャンスがある。

左が報告者の井上さん、右が座長の滝口さん

熱心に討論しました

信念をもって実践して行き、次の世代に地域をどのように引き継ぐか？が重要な経営課題だと位置付けておられました。

第２分科会の学びのポイントとして、環境経営が企業発展の要諦であることを学び、ご参加頂いた方々が環境経営を実践するきっかけとなればと、討論のテーマに「自社が環境経営に取り組み、持続可能な企業と地域となるために、今、実践すべきことは？」とし、グループ毎に身近な地域課題の解決などについて討論が繰り広げられました。環境経営とは、如何に「自分事」にできるかであり、自社にとって身近なところにビジネスチャンスがあることに気づくことです。そのきっかけになる分科会となりました。

寄稿：滝口 貴士さん
（えひめ住販／松山支部第１地区会）

グループワークの成果発表

# 第11回経営フォーラム　第３分科会（C：複雑性）

## 障がい者（＝多様な個性）雇用は企業発展のカギ!!

### ～「社長！絶対無理です」から「社長！この子頑張ってますよ」～

◆ 報告者：**小串 康博** 氏
㈱オグネット 代表取締役／大分県中小企業家同友会 障がい者問題委員長
◆ 担　当：求人教育委員会・地域共生委員会

報告者の小串康博さん

大分市内で建設会社と自動車販売会社を経営する小串氏。障がい者雇用は困難だと思われていたのに、特殊擁壁の現場（コンクリートを山の斜面に吹き付ける仕事）に参加してもらうと、社員から「あの子いいですよ」と伝えられました。

それから、障がい者やグレーゾーンの方へのケアや挑戦が始まります。

一般的に危険な建築現場での障がい者は危ないのではないか？と考えがちですが、実は上手く適合できる人もいます。優しくケアしてくれる社員も育っていきます。

特性を理解し改善を続けていくことです。勤務時間などの就業規則の整備、手すりや機材や仕組みなど職場環境の整備も必要です。現在、数名の障がいをお持ちの方が各部署で働かれています。

以前はやんちゃなチームを引き連れ、建設現場で手腕を振っていた小串氏。今では建築会社のほうは社員に社長をやってもらい、２社を経営されています。働ける環境づくり、特性の理解、小串氏の様々な取り組みにより働きやすい職場になり「障がい者雇用は職場の環境改善で会社が成長し・社員が成長し・社長が成長する」と、力強く教えていただきました。

VUCA の時代は人材がカギ

社員と向き合いたい

今回の小串氏のお話を聞かせていただいて、「まず、支援学校に行って自社に適合しそうな人がいるのか見学してください」と教えていただきました。

一般の社員と同じでそれぞれに向き不向きはあります。特性を持っていても、自社の事業や職種にマッチする人は存在します。多少強い特性を持っていても、そこに合わせる作業の中で他者理解が生まれ、社員や社長である自分自身が育っていきます。

今日の学びの先に行動を起こせば、それ以上の効果がでる可能性があります。当初の苦労は間違いなく大変です。しかし、かけた苦労以上のリターンがあることがわかりました。

私自身も、前向きに取り組んでみようと思います。みなさんも是非、支援学校へ連絡してみてください。

寄稿：今岡 健一さん
（合同会社発達の木 代表社員／今治支部）

多様性を受け入れる社風づくり

# 第11回経営フォーラム　第４分科会（A：曖昧性）

## 人を生かす経営で会社に変化を !!

### ～ 予測困難な環境に適応するためには ～

◆ 報告者：**島 隆寛** 氏
㈱シケン 代表取締役／徳島県中小企業家同友会 代表理事
◆ 担　当：経営労働委員会

左が報告者の島隆寛さん、
右が座長の山本康弘さん

今回の報告者、島さんと私の出会いは、昨年に徳島県で開催された「人を活かす経営全国交流会」でした。その時の報告を聞いて、今回の経営フォーラムの中でも「曖昧性」をテーマにしたこの第４分科会にぴったりだと思い報告をお願いしました。

私としては、同友会の会員企業の中でも事業規模が大きく、また徳島同友会の代表理事である島さんの座長を担当させていただき、身の引き締まる思いでした。

創業者のお父様は、創業から 25 年で社員数 400 人、売上 30 億円を超える会社にまで急成長させました。1 代でここまでの会社を作られ、すばらしい経営者だなと感じました。

その創業者から島さんは、「徳島の大塚製薬になる！」という思いで 27 歳の若さで事業承継されました。社員数 400人にもなる大きな会社を、20 年に渡ってリーダーシップを発揮され、会社を改革しながら更に成長させておられ、純粋に尊敬いたしました。今やシケングループは海外事業を含めて 1,150 人を超える社員数、売上 60 億円規模にまで成長しました。

報告の中で印象に残っていることは、島さんは経営をする上で、同友会が大切にしている活動を積極的に取り入れているところです。例えば、経営指針書の作成と共有を毎年行ったり、新卒採用を積極的に行ったりするところです。経営者と社員さんが共に育って会社が成長し、10 年ビジョンでは「100 億円企業」を掲げられており、同友会活動と自社の経営が「不離一体」ということを見せていただきました。

グループ討論で深めました

そのように発展してきたシケングループさんですが、このコロナ禍の３年間は大変だったようです。コロナ禍を経験して、SNSを活用した営業、歯科技工士と現場をつなぐ ZOOMを活用した営業、集合研修や採用のオンライン化、事務職のリモート化など、数々の変化に対応する取り組みを実践されてきました。

そして、今後は 100 億円企業を目指し、アメリカの技工所の M&A、歯ブラシ会社などの関連事業への出資、保険事業やリサイクルユニフォーム事業の新事業立ち上げなど積極的な夢のある経営をされています。変化に対応しながら会社を成長させていく姿を見て、私をはじめ会場の参加者の方もエネルギーをもらったのではないでしょうか。

VUCA 時代の曖昧性がテーマの第４分科会でしたが、未知で不確実な時代だからこそ、自社の理念やビジョンを明確に持ち、社員さんへ浸透させ、共に育ちながら自社を成長させ、よりよい会社にしていく必要があるし、それが VUCA 時代を乗り切る力になると思いました。

私自身も同友会での学びと会社経営は「不離一体」であることを体現していきたいと思いました。

寄稿：山本 康弘さん
（㈱日の出都市開発／松山支部第１地区会）

10 年ビジョンの大切さ

同友会活動と会社経営は不離一体

# 同友会で俳友会

入学や入社、進級や転勤、何かと環境の変わる四月です。新しい環境で戸惑うこともありますが、そんな時こそ俳句を作ってみませんか。十七音に思いを込めて。

◆最優秀賞

**玄関に地蔵の如しヒヤシンス**

弓立 公司さん（㈲ユアーズ・ケア）

ヒヤシンスを何か別のものに見立てる俳句はありますが、作者は、玄関に置いたヒヤシンスを地蔵のようだと表現しました。ヒヤシンスと地蔵は似ても似つかぬものですが、なるほど、総状花序（茎の周囲に小さな花が複数密集する咲き方）のヒヤシンスのその佇まいは、地蔵のようでもあります。凛とした玄関に置かれたヒヤシンスの香りが、鼻腔をくすぐります。

◇特別賞（爆釣賞）

**桜鯛テンヤがいいかタイラバか**

竹河内 博之さん（愛媛同友会事務局）

鯛の船釣りの代表的な仕掛けに、テンヤ釣りとタイラバ釣りがあります。今日の潮目ならどちらの仕掛けがよいか、そこから考えるのも釣りの醍醐味です。釣り人のワクワクした心境が伝わってきます。

◇特別賞（あたたかで賞）

**春深し上着はいらぬ夜散歩**

武田 正輝さん（恭栄自動車㈱）

夜の散歩に出ようと上着を手にしましたが、クローゼットに戻しました。今日は上着なしで出かけたい気分です。季語の「春深し」が体感として伝わってきます。

◇特別賞（土筆摘み賞）

**足はこぶ土筆まだかと過疎の村**

大野 智加子さん（㈱コピー愛媛 元社員）

毎年土筆の時期に、故郷の村に足を運びます。今年の土筆はまだ生えていない様子です。

**五月号 兼題**

「夏近し」「若鮎」「躑躅（つつじ）」「メーデー」「初鰹」「柏餅」

**六月号 兼題**

「梅雨」「梅雨晴」「初蛍」「紫陽花（あじさい）」「ソーダ水」「夏帽子」

5月 投句QR　締切4月14日

6月 投句QR　締切5月15日

いずれの兼題で投句下さっても構いません。また、兼題に拘らず自由に詠んでいただいても構いません。

講評：髙橋 大輔さん（広報情報化委員）

最優秀賞の弓立公司さんには、表彰状と㈱母恵夢本舗（岡田弥栄さん：今治支部）のステキな賞品を差し上げます。

母恵夢本舗の人気商品「たまご母恵夢」「キャラメシアン」「ベビー母恵夢」を色々詰め合わせました。

母恵夢本舗の岡田さん

## お済みですか!?「同友会名簿アプリ」のインストール

**愛媛県中小企業家同友会では、会員同士のコミュニケーションを促すとともに会の活性化を目指し、「同友会名簿アプリ」を導入しました。**

**名簿の検索・閲覧はもちろん、メッセージの送受信や無料通話、スケジュールの確認も可能な便利なアプリです。非常に便利です。**

**ぜひインストールしていただき、ご活用ください！**

※最初のログインにＩＤとパスワードが必要です。e.doyu と同じものです。お分かりにならない場合は事務局までお問い合わせください。

※パソコンでの利用も可能です！　URL：https://web.doyumeibo.jp/#/

※今後、会内の公式の連絡の遣り取りは名簿アプリに集約していきたいと考えております。

【お問合せ】愛媛同友会事務局　電話：089-948-9920　メール：info@ehime.doyu.jp

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

## 新入会員のご紹介【１名】（3月 23 日理事会承認）・会員掲示板

**大枝 篤志**さん（おおえだ　あつし）
**松山支部第３地区会**
ＳＮＳパーソナルトレーナー 代表
〒 791-8022　愛媛県松山市美沢 1-3-7-3
ＴＥＬ：090-5267-1488
紹介者：愛媛同友会 事務局

“平成の赤ひげ”の経営相談室からアドバイス

## 繁盛店の秘訣

秋川会計事務所㈱取締役
愛媛同友会　経営相談室長
秋川保親 氏

繁盛できる人は「三年後の自分」を見ている。繁盛できる人は「賞品のインパクト」を常に考えている。

繁盛できない人は、常に「目先の利益」を優先して、繁盛したいと必死で頑張っているだけです。仕事とは「貴方の人生」そのものです。

仕事とは「貴方の人生観」を売っているのです。その人生観の対価として売り上げが発生している。売り上げが上がらないのは「人生観が希薄な人」か、この原則に気付いていないのです。

繁盛店の経営者は、「どうしたらお客様が喜び、そして驚くか」を発想の基点にしている。繁盛していない店には、喜びも驚きもありません。

まず大切なことは「成果を忘れる」ことだ。成果をあげる前に、人に興味を持たなくてはいけない。

店長の仕事は、「お客様を感動させ、喜ばせること」売り上げは後から付いてくる。「お客様が喜んだり驚いたり感動する店」は必ず繁盛しているのです。

これは大久保一彦さんの言葉です。

こだわりのじゃこ天
しのの
東雲かまぼこ
無添加じゃこてん
その一、
宇和海・瀬戸の新鮮な魚を使用
その二、
添加物を使用していません。無添加！
その三、
天然岩塩使用
〒 790-0004
愛媛県松山市大街道 3 丁目 7-4
（松山城ロープウェイ乗り場斜め前）
TEL・FAX：089-935-8622
HP アドレス：http://umajaco.jp

伊予 さつま
あったかご飯にかけるだけ
えひめ南予・中予地方で今も食卓にのる
麦みそと海の幸・山の幸を
まぶして食べる郷土の味
GINO GINO MISO CORPORATION
ギノーみそ 株式会社

# 2022年度 愛媛同友会　第10回理事会 議事録

【日時】2023年2月22日（水）18：30～20：30　【会場】愛媛県生活文化センター・Zoom
【出席】理事18名　委任7通　事務局3名　【議長】今村 暢秀　【議事録】竹河内 博之

## 開会挨拶：田中 正志

経営フォーラムは大成功でした。同友会で学んだことの一つが、師匠をつくれということです。師匠の言うことは素直に聞いて実践し、報告する。今思えばこれがPDCAになっていました。経営が難しい時代になりました。周りの人の経験から学び、お師匠さんをつくる必要があります。

## 承認事項

**（1）入退会承認**

入会：1名、退会1名を承認。会員数392名（期首：396名）

## 報告事項

**（1）第11回経営フォーラムの開催報告と御礼**

ご支援ありがとうございます。193名の参加になったのは、みなさんのおかげです。アンケート結果を踏まえ、実行委員会でふりかえりを行います。収支結果など最終的な報告は3月理事会で行ないます。ゲスト参加が多数あったので、フォローをお願いします。

**（2）愛媛同友会の2022年度方針の総括と2023年度方針の報告と質疑応答**

※以下の項目について、2022年度のふりかえりと、2023年度の方針の提案がありました。

**企業づくり方針・地域づくり方針・同友会づくり方針**

※以下のような意見が出されました。

・経営指針を成文化している会員の比率を正確に把握する必要がある。
・経営指針を成文化について、会員どうしが連絡を取り合い、つながることが大事。仲間づくりにつながる。
・地域づくり方針で、よい会社づくりを進めて地域の雇用を増やす、地域の若者を育てるという課題を入れてはどうか。
・同友会づくり方針を、支部でもんでもらいたい。

※今回の質疑応答と意見交換の結果を踏まえて、3月理事会で承認します。並行して、支部・地区会・委員会の総括と方針についても各幹事会・委員会でご協議ください。

**（3）各支部・地区会からの報告**

**（4）各委員会等からの報告**

政策委員会：EDORの1～3月期は価格高騰、賃上げの特別調査を準備中。回答の促進にご協力をお願いしたい。
求人教育委員会：2/24にDオファーを行うので見学にきていただきたい。合同入社式・新入社員研修にぜひご参加を。

**（5）その他**

①スタートダッシュ集会

4/28に540名会員に向けて、増強の成功例（広島）から学ぶ場を設けるので、ぜひご参加を。

②事務局の働き方、引継ぎについて

本日の理事会をひとまず最後に藤原さんが産休・育休に入る。今後の支部活動や委員会活動への事務局員の関わり方については、正副代表理事会議と事務局とで協議中。後日、改めて文書にまとめてご提案する。

**（6）全国・他団体行事について**

①中小企業問題全国研究集会in長野（2/16　締切済み）

2023年3月2日（木）～3日（金）　中同協からの参加目標14名に対し、愛媛からの参加15名

## 協議事項

**○愛媛同友会40周年、全研in愛媛までに安定540名会員を達成するには？（問題提起：田中代表理事）**

当初、迷いがあったが、1/7キックオフ集会で、立てた目標は貫徹しようという気持ちになった。経営フォーラムでほぼ目標達成し、若手のパワーを感じた。若手が突っ走り、年配者がフォローするスタイルで進めてはどうか。やり方として、支部ごとに、会員一人がひとりのゲストを誘うという目標（50名の支部なら50名のゲスト）を持っていただいてはどうか。会員が増えれば、発言力が強くなる。また、会員が増えると、出会いのチャンスが増え、活動も活発化する。

**○グループ討論「愛媛同友会40周年、全研in愛媛までに安定540名会員を達成するには？」**

**○グループ発表**

・まず今年度の目標を達成しよう。他県の成功例から学ぶ。役員が一丸となって取り組む。以前やった、選挙事務所方式はどうか。有名人の講演会を行い、ゲスト参加を募ってはどうか。南予支部の強化に取り組む。
・「増」と「強」に取り組む。例会を充実させよう。活動方針を実践しPDCAを回す。役員、会員への意識づけが必要。支部、委員会を一人でなく、複数人で動かすようにする。若手経営者、女性経営者を意図的に増やす。新会員のフォローは必須。他の会とのちがいを明確に打ち出す。
・増強の担当者を明確にし、しくみをつくる。個人に依存しすぎている。成功事例を共有する。情熱と責任をもって入会候補者と向き合う。

（議長）4/28の増強の成功例（広島）から学ぶ会にぜひ参加を。

## 閉会挨拶：米田 順哉

540名会員を達成するには、年に100名の入会が必要。月割りにすると10名の入会が必要です。以前、血判状を書いて増強に取り組んだが、その後、退会者がぼろぼろ出て、アレルギーになっている人が多い。あの時は500名がゴールだったが、今回は540名がゴールではなく通過点です。また、いまは経営に役立つ活動が根付きつつあり、「強」はできつつあります。候補者に「経営課題はなんですか？」と聞き、「一緒に勉強しましょう」と誘う。会のためではなく、会社が良くなるための声掛けをしていきましょう。4/26の広浜さん（中同協会長）の報告、4/28の道垣内さん（広島同友会組織委員長）の報告5/23の県総会の3つをセットで取り組んで、勢いをつけてスタートダッシュを切りましょう。

世の中の「ありえない」をカタチに

株式会社
フェローシステム

住所：〒790-0804 愛媛県松山市中一万町7
TEL：089-987-6046　FAX：089-987-6047
MAIL：info@fellow.co.jp　HP：https://www.fellow.co.jp/

清水屋クリーニング

ALTERATION
& CLEANERS

私たちが考える良いワイシャツとは、
エリが綺麗なこと。
着心地がしなやかでハリがあること。
清潔でいられること。

E-mail shimizu@infomadonna.ne.jp
〒790-0053 愛媛県松山市竹原４丁目 8-47
TEL 089-941-7388
FAX 089-947-2833

矢野質店

有限会社矢野商事（矢野質店）
住所:松山市花園町2番地3　電話:089-941-4044

Issei Group
いっせいグループ
グループ店

愛彩館
愛大附属病院内
089-955-2008

旬の味 おと膳
旧空港通り
089-968-6836

お酒の肴 嫁の蔵
HIMENOKURA
089-947-6817

夢にえがお

奇跡のトリカワ横丁
平和通り　089-994-6656

haco.
朝生田店
089-935-8558

居酒屋
ぶらぶらあるき
宮田町
089-933-6716

弁護士法人 たいよう
四国の躍進は地域企業と法律家の連携で

愛媛県弁護士会所属　代表弁護士／吉村紀行

愛媛県　松山事務所　☎089-907-5601
愛媛県　大洲事務所　☎0893-59-0353

リース車両メンテから、愛車の「困った」、点検まで
トータル・カーメンテナンス
恭栄自動車株式会社

松山市空港通1丁目8-2 〒790-0054
TEL 089-972-1228(代)
FAX 089-971-4419

保険調剤・ヘルスケア
平野薬局グループ
株式会社　平　野

〒794-0028　今治市北宝来町2丁目2-22
TEL（0898）32－0255
FAX（0898）32－0350

税理士法人
asitao
（あしたお）

― 明日を拓くパートナー ―

安部　真／井上　徳之／近藤　壮／十河　篤史

〒790-0066　愛媛県松山市宮田町 186 番地４　松山駅前ビル２F
TEL：089-948-8294　FAX：089-948-8296

ICT の知識や技術を活用し、お客様の夢をかなえます。

SPiRiT

WEB サイト制作・運用・保守
セキュリティ運用・関連商品導入
システム開発・サーバ構築
ネットワークインフラ構築・電話設備
各種機器販売

株式会社ディースピリット
〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1430 番地 1
TEL：089-948-4100　FAX:089-948-4101

～人の一生を支えられる企業になりたい～
社団法人　日本義肢協会会員
＝義肢・補装具・車椅子・補助杖・その他福祉関連商品＝

有限会社　オルソ本田

オルソ本田
ORTHO HONDA

〒７９０－０９４７
松山市市坪南２丁目４番２４号
ＴＥＬ（０８９）９５８－６６１７
ＦＡＸ（０８９）９５８－６６４１
E-mail:ortho@abelia.ocn.ne.jp
http://ortho-honda.com/

消防・防災の専門商社
株式会社 岩本商会

災害に強いまちづくりをお手伝いします

本社　松山市大手町一丁目 10 番地 1
TEL089-947-2111　FAX089-947-2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫
https://www.iwamotosyoukai.co.jp

二幸送風機株式会社
REALIZE TWO HAPPINESS

私達は、「風の匠」として、常にファン技術の可能性に挑戦し、
社員の希望とお客様の感動のふたつの幸せを実現できる会社創りをめざします。

本社・工場　〒791-8022　089-925-6401
愛媛県松山市美沢二丁目3-7　089-925-6259

社員、顧客のふたつの幸せを実現する企業を目指して　http://www.nikofan.com/

家族支援フォーラム
地域生活支援センター
夢ポケット
公式ホームページ

〒791-8012 松山市姫原2丁目3-21　089（924）8989

MOVE YOUR HEART!
服部製紙株式会社
HATTORI PAPER MFG. Co.,Ltd.

〒799-0112　愛媛県四国中央市金生町山田井171ー1
TEL0896-58-3005　FAX0896-58-3306
http://www.hattoripaper.co.jp

ENEOS
ENEOS 株式会社特約店
～灯油・軽油・A 重油の配達もお任せください～

日興石油株式会社

| | | |
|---|---|---|
| 本社 中の川SS | 松山市湊町4丁目1番地2 | 089(931)3221 |
| 三番町SS | 松山市三番町6丁目4ー17 | 089(941)7685 |
| カーフォート かもがわSS | 松山市鴨川2丁目17ー1 | 089(978)1616 |
| 和気SS | 松山市和気町1丁目473ー1 | 089(979)2044 |
| 配送センター | 松山市空港通4丁目3ー39 | 089(972)1002 |

ハト飛来防止用忌避剤
「ハートジェル」販売・施工代理店
株式会社トータル・ビル・サービス
松山市松前町 2 丁目 8 ー 3
TEL 089-946-3255

ハト飛来防止用忌避剤
ハートジェル
Pigeon Evasion Jell
HATO JELL

ハトの被害に頭を抱えていませんか？「ハートジェル」はハトの習性を研究して完成した、ハトを傷つけずに追い払う特殊ジェルの忌避剤です。テスト施工無料。
※器具やネット等の取り付けと違い、建物の美観を損ないません。
※効果は 1 年以上持続し、添付面を汚染することもありません。
お気軽にお問い合わせください。

環境と未来を考えるシステムの包装商社
株式会社 パステムマツザワ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社 | 〒791-8507 | 松山市久万ノ台695番地1 | TEL 089-925-7811 |
| 中央市場営業所 | 〒791-8016 | 松山市久万ノ台348番地1 | TEL 089-924-3380 |
| 宇和営業所 | 〒797-0045 | 愛媛県西予市宇和町坂戸542-4 | TEL 0894-62-8980 |
| 新居浜営業所 | 〒792-0872 | 新居浜市垣生3丁目310-11 | TEL 0897-67-1788 |
| 広島営業所 | 〒733-0804 | 広島市西区山手町17-3 | TEL 082-235-1003 |
| 高知営業所 | 〒780-8040 | 高知市神田971-1 | TEL 088-833-3433 |
| 徳島営業所 | 〒771-0204 | 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保200-1 | TEL 088-698-1585 |
| 香川営業所 | 〒761-2403 | 丸亀市綾歌町岡田西1081番地18 | TEL 0877-35-7010 |
| バックマート久万ノ台店 | 〒791-8016 | 松山市久万ノ台684-1 | TEL 089-924-2475 |

和洋菓子製造
株式会社 世起
愛媛県伊予郡松前町北川原 1240-1
TEL089-984-6658

よりよいくらしの想いをかたちに
共同購入・宅配・店舗・福祉・共済・旅行・プレイガイド

コープえひめ
本部/松山市朝生田町 3-1-12
TEL (089) 931-5201
http://www.coopehime.or.jp

あったかい味
お届けします
株式会社 ナカ フードサービス
NAKA FOOD SERVICE
松山市大可賀2丁目2-12　☎952-1156